

ぎかいだよりむらやま



写真/
若手でがんばるVOL.7
大倉 鈴木^(はつり) 鈴木智英さん

2016
vol.88

2016年1月15日
発行



対談

TALK

地域おこし協力隊 小田嶋 優
×
新議長 森 一弘



第24代議長
森 一弘



村山市は楽しんで生
きることに積極的な
人がとても多いと思
いますね。(小田嶋)

さる12月16日議長公室
において議会だより編集
委員とともに対談を行
いました。

和やかな中にも若々し
い意見が出されました。

——本日はお忙しいところ
議長との対談にお越し
くださいましてありがと
うございます。現在地域
おこし協力隊として活動
されている小田嶋さんで
すが、ご出身について
ことと村山市に来ること

になった経緯などをお伺
いしてもよいですか。

(小田嶋) 私は宮城県仙
台市の出身ですが、母の
実家が東根市でした。小
さいころから山形には頻
繁に遊びに来ていました。
村山市もクアハウス碁点
や東沢バラ公園などに
ちよくちよく来ていまし
た。そしていつか山形に
住んでみたいと思ってい
たところ、今回の地域お
こし協力隊の話があり思
い切って応募しました。
現在は楯岡鶴ヶ町の「こ
めやかたゲストハウス」
のスタッフとして働いて
いて、現在2年目になり

ます。

(森) ゲストハウスのこ
とはテレビで拝見しまし
たが、お客様にさよなら
ではなく行ってらっしゃ
いと言っていましたね。そ
ういう気持ちが素晴らしい
ですね。ところで移住
してからの村山市の印象
はどうでしたか。

(小田嶋) 会う人会う人
が楽しく生きることにと
ても積極的な人が多いな
と感じました。自分が住
んでいる町に関心がある
方も多く、地域おこし協
力隊として活動するのも
非常にやりやすいと思い
ます。他の自治体に比べ
ても個性的に活動されて
いる方が多いと感じまし
た。

——地域おこし協力隊と
して応募してきたとい
うことですが、応募の
きっかけなどはありま
すか。

(小田嶋) 活動をする前
は東京で会社員をしてい
ました。村山市の協力隊

は人材マッチングを行っ
ていて、民間に人材を入
れているのはとても珍し
いことでした。こめやか
たさんが受け皿として決
まっています、そこに入る
人を探して出て会いま
した。

(森) では村山方式はと
てもいいということでは
しょうか。

(小田嶋) 私はいいいと思
います。3年という任期
があると協力隊が作り出
した事業も人がやめると
終わってしまうし、民間
で行うというのは事業の
発展性があると思います。
自治体でやるとどうして
も担当者が代わると事業
が続かなかつたり、引き
継ぎがうまくいかなかつ
たりすることが多いので
すが、その点は村山市の
方式は優れていると思
います。

(森) 自分たちは住んで
いるので分からないかも
しれないですが、村山市
の楽しいところなどを
もっとPRするためのヒ

ントなどはありますか。

(小田嶋) 村山市にしか
ないものを探すと難しい
かもしれないですが、私
は旅人が相手の仕事をし
ているのですが、名物を
求めてくる人は少ないで
す。お話をしたり、地域
の人と混じって暮らして
みたいと思っています人が
多いです。都会の人が来
るのですが、自分と違う
時間軸に身を置きたいと
考えているんです。他の
地域づくりをしているも
のを見ると、「私のま
ちは人がいい」という部分
に行きつくようです。ゲ
ストハウスに来る人は商
店街を散歩してお話しし
たり、買い物したり自由
に過ごしている人が多い
ので観光の目玉になるよ
うなものが必要なんだろ
うか、と感じています。

(森) 我々が若いころの
時代と比べて子どもたち
の笑い声が少なくなっ
てさみしい気もするのだ
すが、まだ何か足りない部
分があるのでしようか。

新春 笑顔 SMILING FACE

(小田嶋) 地域のママさんたちと地域の小売店を回るツアーなどをしているのですが、先輩のおかみさんとお話しをするのが楽しいといわれています。子ども連れで行ける店も少ないようです。生活者目線で言えば、今必要なことが多いので、仕組みを変えていただければとても良いと思います。

地域の笑顔が絶えないのが村山市のいいところだと思う。今後も笑顔を守る地域づくりが大事です。

(森)



——村山市に来ていただいて、議会についての印象など感じていることはありますか。

(小田嶋) 議会の詳しいことはよく分からないのですが、市民と議員の距離がとても近いと感じました。東京にいた時は国政選挙も地元選挙も変わらない距離感でしたが、村山はとても身近に感じています。

(森) 村山市は8地区に分かれていて、全体としてやることと、各地区でやらなければいけないことがあります。これから

人口減少などで各地区でできないことも出てきます。村山市の良さは地域の人が笑って暮らせるところだと思っています。限られた予算の中で8地区がそれぞれ独立ではなく、一緒に発展していけるような村山市にしていかなければと思います。そして地元にいる人はなかなか変えられないということもあるのですが、外から来た人などにアドバイスをいただければと思います。

——地域おこし協力隊としての任期はあと1年ですが、今後はどのように活動されるつもりですか。

(小田嶋) 現在のゲストハウスはボランティアス

地域おこし協力隊
おだしま ゆう
小田嶋 優さん



宮城県仙台市生まれ。東京での会社員生活を経て現在素泊まりの宿の管理人として活躍。協力隊は現在2年目。畑や手仕事に興味があり、わら仕事も勉強中で、地域の方に向けた手仕事や、ごはん会などのイベントも企画しています。楯岡在住。

スタッフとして働いているので、任期後もそのまま続けるのは難しいと思いますが、何か別の仕事を探してこのまま住み続けられればいいなと思っています。

——是非今後も村山市に住み続けていただければと思います。本日はお忙しいところお越しいただきましてありがとうございます。



新議会体制が決まりました



議会の構成

議長		副議長		
森 一弘		大山 正弘		
議会選出監査委員				
佐藤 昌昭				
	総務文教 常任委員会	産業厚生 常任委員会	議会運営 委員会	議会だより 編集委員会
委員長	長南 誠	長谷川 元	秋葉 新一	大山 正弘
副委員長	石澤 祐一	川田 律子	長谷川 元	川田 律子
委員	大山 正弘	森 一弘	茨木 久彌	長南 誠
	海老名幸司	秋葉 新一	中里 芳之	長谷川 元
	茨木 久彌	菊池 貞好	長南 誠	結城 正
	中里 芳之	矢口 正	結城 正	石澤 祐一
	佐藤 昌昭	高橋菜穂子		菊池大二郎
	結城 正	菊池大二郎		

一部事務組合議会議員

■ 共立衛生処理組合

副議長 長南 誠
議運委 秋葉 新一
議員 中里 芳之

■ 北村山公立病院組合

副議長 森 一弘
議運委 長谷川 元
議員 川田 律子
議員 高橋菜穂子

■ 北村山広域行政事務組合

議長 海老名幸司
議運委 石澤 祐一
議員 菊池 貞好

■ 広域斎場事務組合

議員 茨木 久彌
議員 結城 正
議員 菊池大二郎

■ 山形県後期高齢者医療広域連合

議員 大山 正弘

代 表 質 問



市民生活の向上に向け、政策を打つ

市政・公明クラブ 長南 誠 議員

公約実現について伺う

Q 人口が減少し少子高齢化が進み、生産年齢人口減少。20〜30代の減少が多く、出生率も1・39人であり、財政基盤の確立に影響を及ぼし、市の社会問題で衰退原因の要素と考える。5つの公約を挙げているが実現化はどうか。目指す村山市の方向は。また創生事業人口ビジョンを伺う。

A 市民が危機感を持つことは発展につながる。公約は即効性のあるものを挙げた。通過点として認識してほしい。高齢人口が34%を超えている。生産年齢人口を増やすことが、人口に対する効果と税収増に結びつき、市民生活向上になる。それを柱として政策を打つ。

楯高跡地利用調査中

Q 市の発展は楯高跡地と都市計画道路、幹線道路の整備が重要。跡地利用次第で商店街発展につながる。残期間も短く、早急な利用計画を望む。また駅西にホテル、スーパーが

進出予定で「まち」の相を一変する。東西を結ぶ地下道の考えを伺う。

A 跡地は三年間楯高小改築のため使用する。市民に聞き取りしたが妙案はなかった。楯高がなくなった時、商店街に甚大な影響が予想される。人が集まる学校などを考え、看護学校を調査したが進出は望めない。他大学にも誘致で当たっている。東西を結ぶ地下道は無理。道路新設、改良も数件あるが、高速道に係る駅西の延長を優先する。

荒廃地対策はあるのか

Q 若者の農業離れ、農家の高齢化で、田畑

の荒廃が進んでいる。TPP大筋合意により農家の減少が心配。122haある市内荒廃地対策について伺う。

A 山形県にとってTPPは良いと思わない。反対である。大筋合意の内容が不明瞭のため、国・県の動向を踏まえ対応する。市内農業者保護のため頑張る。遊休農地対策として、10a当4万円を市で補助している。良好農地も荒廃の恐れがあり、農地中間管理機構を利用し、集約・集積を進める。

工業団地造成せず、既存企業業績伸ばす

Q 条件に合った働く場所がないことが若者流出原因の一つ。工業団地を造成し、企業誘致を図り、働く場所づくりをすべきと考えるが。

A 企業進出がない状況で新規団地造成はしない。造成費が膨大で金利を考えると市民の負担が増すだけだ。既存企業の業績を伸ばし、雇用を増やして村山市の工業を伸ばしていく。実情を踏

まえて変えていく。**活性化・空地を中心に検討中**

Q 商店街の活性化は、やる気・アイデア・行政のバックアップと考える。独自の店づくり、サービスなどで客は戻る。閉店した店を市が借り、起業家に貸してはどうか。

A 商店街は大変な状況。店は個人所有物で、住んでいるため難しい。空地を中心として検討している。村山市の実情に合った調査が必要と思う。

官民一体の営業戦略

Q 村山市の観光地、物産は多いが、売り方に問題はないか。官民一体となった営業戦略が必要と考える。

A 売り方は下手。農産物を含め宣伝する。浅草のアンテナショップに期待している。
Q 体育施設の改築、修繕について伺う。
A 市民の意見を聞き判断する。楯中グラウンド修繕は無理である。



3月に閉校する楯岡高校



ビジネスホテル建設予定地（駅西）

ここが

聞きたい

一般質問

Q&A

本定例会の一般質問は12月3日・4日に6人の議員が行いました。

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ&Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。

A ①流雪溝の整備は、外宿地区の水量調査平成28年中に水利権の取得と4～5年後に完成予定。その間に次の予定地の調査と順次整備していく。具体的な動きとして袖崎まち協の雪部会では、地域ぐるみで高齢者世帯の除排雪を実施している。雪対策活動団体活動費補

Q 市が作成した村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略「みんな心安心して暮らせるまちを創ろう」の施策の具体化について伺う。①流雪溝の整備の進捗状況及び今後の予定は。高齢者世帯の除排雪について②交通弱者の利便性の向上として、スクールバスを含む市営バスの総合的見直し、デマンドタクシーの拡充について③高齢者及び子育て世帯を対象とした、買い物しやすい環境づくりの支援について。



拡充が望まれるデマンドタクシー

助金をモデルケースとして支援していく。経常的にやる気のある地域を支援していきたい。②平成28年中に市営バス・デマンドタクシー・スクールバスも含めた交通システムを考えていく。③ある地域を選定して、買い物

一日一便〜二便運行を検討したい。具体的には、湯沢から榎岡地区を回って量販店に行く路線を検討している。大高根地域で軽トラックで回っている団体もある。意欲のある商店などに行政としても支援していきたい。



村山市まち・ひと・しごと創生
総合戦略で市民のくらしはよくなるのか

川田 律子 議員



楯岡小学校の楯高跡地への仮移転は

長谷川 元 議員

Q 今まで歴代市長の思い付きで行われてきた都市間交流にも戦略が必要ではないか。

A 今回ツエルマットではトップセールスを行っているが、今後交流の際は外貨獲得なども考えなければならぬ。

Q 楯岡小学校の改築に伴い楯岡高校への仮移転をする。具体的な計画について伺う。

A 楯高校舎は体育館など一部を利用する。敷地内に二階建てプレハブを建設する。エアコン完備で授業などに支障ないようにする。

Q 通学路の安全確保に特段の配慮を。またスクールバスの運用範囲が変わるが対応は。

A 北町・湯沢がスクールバス適用範囲になる。2年間はスクールバス通学ができる。中央は適用外になっている。



改築予定の楯岡小学校完成予想図

Q この度、大高根児童センター・袖崎児童センターの民間への移行が示された。今後の出生数の推移から、市内保育施設のあり方を検討すべきではないか。再編について計画をもって臨むべきと考えるが。

A 現在の市内各地区の出生数を考えると、西郷・ちぐさ・ふもとの各児童センターが今後対応が必要。市内全体を見て計画をもって進めていきたい。



AEDをいつでも使用出来るように

石澤 祐一 議員

Q 市民の人命を守るには救急車が到着するまでにAEDが有効とされるが、当市における救急車到着まで遠いところで15〜20分かかる。①現在の設置台数と24時間使用出来る台数は。②設置後の利用数と利用内容は。③24時間使用出来るようにすべきではないか。

A 市内には民間合わせて78箇所、24時間使用出来るのは15台であり、平成21年と23年の2回使用している。40代の女性が職場で倒れ、同僚がAEDを使用し回復し、社会復帰している。医療機器のため使用可能な気温は0℃〜40℃の範囲のため、寒い状況では作動しないことも考えられる。

Q 屋外に設置する場合には温度管理できる設備がある。AEDが設置してある自動販売機があるので検討して欲しい。



屋外に設置しているAED

A 検討します。

Q 市内の流雪溝の整備状況と今後の計画は。水利権の取得状況について。

A 現在、県道も含め10kmとなっている。昨年度策定した市流雪溝整備構

想では、12地区で整備が可能と示されており、優先順位の高い方から始め、水量調査もスタートした。

Q 将来の村山市として、自然取水だけでなく、土地改良施設の揚水機等も利用したものを検討して欲しい。



学校給食費無料化拡大など、さらなる子育て支援策を求める

中里 芳之 議員

Q 昨年10月22日のアシストへの立ち入り調査の時点で、基準を超えたかどうかの数字的裏付けがなくても、協定第9条に違反することがはっきりしたのではないかと、

A (市民環境課長) 今の段階では協定違反かと思うが、当時はその

認識がなかった。

Q 数字的裏付けがなければ放流を停止できないというのは、法令に基づいて業者を監督・指導する県の言い分。市は県に追従するだけで、環境保全協定の当事者であるという自覚がない。その結果、得体の知れない

水が問題発覚後、一か月間もたれ流されることになったが反省すべきではないか。

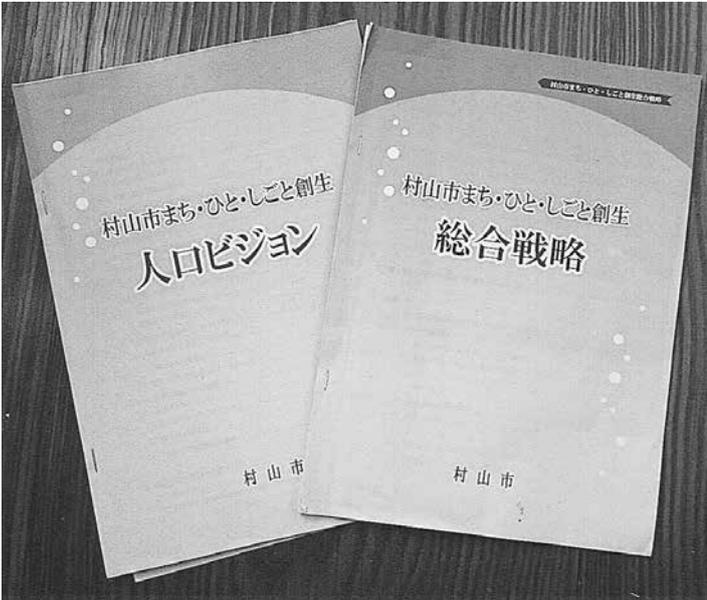
A (市長) これまで答弁してきたとおりだ。

Q 労働者派遣法の「改正」やPPPの推進は、「地方創生」に逆行し、努力する自治体の足を引く張るのではないかと、

A PPPは基本的に反対だが、これが足を引く張るとは考えない。

Q 村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の子育て支援策には真新しいものがない。また、子どもの貧困克服のためにも、学校給食費無料化の拡大や医療費無料化の高校卒業までの拡大、市独自の奨学金制度の創設を早急に検討するべきではないか。

A 奨学金については検討中である。



村山市まち・ひと・しごと創生 総合戦略



有害鳥獣の被害状況と駆除対策事業の実態

菊池 貞好 議員

Q 近年市内の山間地で農家の方を悩ませて

いる問題として、有害鳥獣による農作物への被害拡大があるが、被害状況と市がとっている駆除対策事業の実態をお聞きたい。

A 2年前から専門員を置いて対策に当たっているが、なかなか成果が出ないのが現状だ。25年度は1千500万円、26年度は2千万円の被害状況である。捕獲したサルに発信器を付け、動向調査して行動範囲は把握している。サルを追い払えば、どこに行くのか分かってきた。この調査から対策は来年度から実施したい。電気柵は大変有効な対策だが、問題は冬になると取り外さなければならず、一年通しての設置が出来ないのが最大の問題だ。

Q 電気柵設置に係わる費用が、市と県が4

分の1ずつ、残りの4分の2が個人負担となるが、市の補助金を増やせないか。

A やる気のある被害農家の人達と話し合い、必要であれば市としても前向きに検討したい。

Q 鳥獣にとつての餌場を作らない等の対策はどうなっているのか。

A 農家の方が収穫の終わった農地に、採らなくなった農作物を放置する事が餌場をつくる要因になっているようだ。一番の被害対策は、農家の方と話し合い、収穫が終わったら餌場になるような物は放置しないことが抜本的な対策だ。



有害鳥獣対策電気柵



現市政の中間総括と 産業高校生の安全確保

菊池 大二郎 議員

Q 私の今回の当選理由は、現市政の「躍動感」がなかなか市民意識まで到達していないことから生じる期待感や、変革の予感の現れであったと感じている。そして、私が得たであろう期待感の対極に位置すると思われる、現在の市政の状況を市民に周知させることが私に与えられた最初の責務ではないかと考える。そこでまず、市長の選挙公約について中間総括を伺う。

A 公約に関係のある人には成果につき、実感してもらっているが、無関係な市民の理解は得難い（質問の趣旨に沿った5つの公約それぞれの具体的な総括は残念がらなかった）。

Q 市役所は会社と同じ。市民は株主、税収は株主からの出資、職員は社員、課長は取締役で議

会は一種の株主総会のようなもの。そこで、この2年間で社長ともいえる市長から課長に対して、どのようなことに特に力を入れるように指示があったのかを伺う。

A 教育長及び関係課長より注力業務につき

答弁があった。
Q 鶴ヶ町西線の延伸、整備につき、人財ともいえる産業高校生の安全確保のため、県との連携を図りながら一刻も早い開通に向け、尽力されるよう要望した。



一日も早く延伸が望まれる鶴ヶ町西線

審議結果報告

(12月定例会において賛否の分れた議案についてのみ掲載しました)

議員名	議決結果	市政クラブ										日本共産党 村山市議団	改革 クラブ	無党派			賛 成	反 対			
		高橋菜穂子	石澤 祐一	長谷川 元	長南 誠	秋葉 新一	茨木 久彌	海老名幸司	川田 律子	中里 芳之	結城 正	菊池 貞好	菊池大二郎	矢口 正	佐藤 昌昭	大山 正弘			森 一弘		
市長提出 条例	村山市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	議	13	2
請願 請願9号	T P P 交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准しないことを求める請願	否	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	議	6	9		
請願 請願10号	村山市議会議場に国旗掲揚を求める請願	可	○	○	○	○	○	○	退	×	×	×	×	○	×	退	○	議	8	5	

正副議長及び監査委員は会派に属しません。議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

可=可決 否=否決 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席

11月臨時議会

議決結果報告

11月2日から4日の会期で、改選後初の臨時議会が開催され、森一弘議長、大山正弘副議長、佐藤昌昭議会選出監査委員が選出され、各常任委員会委員、一部事務組合議会議員を選出し、新議会体制が決まりました。(4ページ掲載)

また、一般会計補正予算は、歳入歳出1億190万5千円を追加し、総額121億4千246万3千円で可決しました。ふるさと納税に関わるものが主でありました。任期満了に伴う新教育委員会委員の任命、選挙管理委員、同補充員が選任されました。

人事案件

- ・教育委員会委員
須藤 幸代(西郷)
- ・選挙管理委員
佐藤 毅(楯岡)

- 大場ひろみ(楯岡)
- 溝邊 令子(大久保)
- 松田 裕(戸沢)

- ・選挙管理委員補充員
里村 学(楯岡)
- 板垣 嗣則(西郷)
- 寛 祥子(大高根)
- 八畝 信子(楯岡)

主な補正項目

- ・ふるさとづくり基金積立金
5千500万円

- ・ふるさと納税寄附返礼品 2千40万円
- ・返礼品発送業務委託料 810万円
- ・ふるさと納税郵便料 572万1千円
- ・定住移住促進事業 420万円
- ・6次産業、村山ブランド販路開拓事業 94万円
- ・観光誘客事業 275万円
- ・東京五輪等海外キャンブ誘致PR映像作成委託料 130万円
- ・最上川スマイルマロン看板作成料、実行委員会負担金 100万円

12月定例会 議決結果報告

11月30日から12月14日の会期で12月定例会が開催され、一般会計及び特別会計補正予算6件、条例3件が原案のとおり可決されました。

その結果、一般会計歳入歳出それぞれ1億4千792万2千円を追加し、総額122億9千38万5千円となりました。最終日に福祉灯油購入費助成事業費に367万7千円追加し、可決されました。

条例

- ・村山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例(市役所でマイナンバーを取り扱う業務を定める条例)
(賛成多数で可決)
- ・村山市市税条例等の一部を改正する条例(地方税法の改正により分割納付の申請手続き等定めた)(全会一致で可決)

請願

- ・村山市議会議場に国旗掲揚を求める請願(賛成多数で採択)

- ・TPP交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准しないことを求める請願(賛成少数で不採択)

主な補正項目

- ・浅草アンテナショップテナント料 90万8千円
- ・保育所保育業務委託料 1千905万1千円
- ・戸沢保育園引継業務委託料 295万5千円
- ・認定こども園事業施設型給付費 667万円
- ・家庭的保育事業地域型 367万7千円
- ・保育給付費 1千216万1千円
- ・除雪委託料 5千万円
- ・東沢公園恋人の聖地整備事業 550万円
- ・スクールバス運転業務委託料(小中学校) 290万4千円
- ・中学校教師用デジタル教科書購入費 612万6千円
- ・選挙人名簿システム改修委託料 195万円
- ・福祉灯油券助成費 367万7千円

各会計補正額

(単位：千円)

会計	補正額	補正後の額
一般会計	151,599	12,294,062
特別会計		
国民健康保険事業	△ 2,853	3,228,780
公共下水道事業	△ 15,295	1,102,634
土地区画整理事業	△ 1,946	18,551
介護保険事業	△ 3,344	2,612,769
水道事業会計		
事業費用(支出)	△ 10,458	645,127
資本的費用(支出)	△ 100	454,211

市民の声



柴田清志さん(西郷)

私は、西郷地区で農業を営む34歳の農業者です。山形県青年農業士に認定して頂いており、村山市の基幹産業である農業の発展に少

しても寄与出来たらと、日々奮闘しております。

そんな中、農協青年部での活動として、西郷小学校の5年生と稲作体験学習をしています。田植えから稲刈りまで一緒になって作業する中で、子ども達の笑顔や歓声を見聞きさせて頂き、大変嬉しく思ったと同時に、この子ども達に、自分達大人はどんな村山市を残していくのだろうと不安になり

ました。

少子化が進み、高齢化社会になり、これからますます厳しい時代になっていくのではないかと思います。その時にどうするのか。議員の皆さんや市役所に任せきりでなく、市民レベルでの議論をすべきではないかと思います。

子どもも大人も高齢者も、安心して暮らせる村山市であって欲しいと願うばかりです。



〈表紙写真〉

独立したばかりで、まだ仕事は薄いけど、将来は多くの従業員を使って少しでも大きな鈴木^{もつ}斫工業として仕事をするのが私の夢です。



議会のながれ(議案審議とは)



みんなの知識

本会議の初日には、市長から議案が提案され、提案理由が説明されます。その後、議案質疑が行われます。

続いて、提出された議案を、内容に応じて2つの常任委員会に付託します。各常任委員会では専門的に詳しく審査を行います。

本会議最終日には、委員長から各委員会での審査経過と結果が報告され、賛成や反対の討論を行った後、採択し、可否を決定します。

編集後記

平成27年11月臨時会において改選された議会だより新委員の構成で編集しております。定例会での議案審査・一般質問の内容報告などを掲載しています。

今後ともよろしく願います。市民参加と議会の公開、わかりやすい内容と企画性が大切と考え、議会を身近に感じていただけるように邁進いたします。(大山正弘)

議会だより編集委員会

委員長	大山 正弘	委員	結城 正
副委員長	川田 律子	委員	石澤 祐一
委員	長南 誠	委員	菊池大二郎
委員	長谷川 元		

